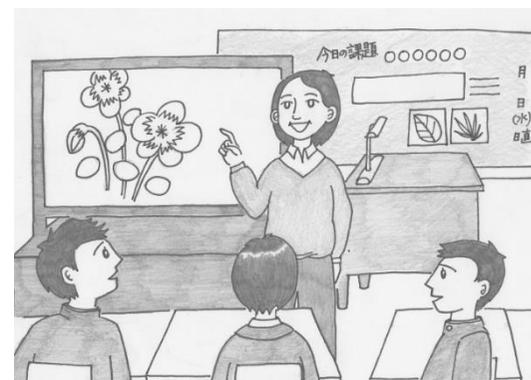


資料

令和2年度  
川崎市立小学校  
学習状況調査報告  
(概要)



## ◎ 調査の概要

### 1 調査の目的

全市的な規模で児童の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

### 2 調査の内容

※当初の予定では、令和2年4月28日（火）に一斉実施する予定であったが、3月からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業により、一部学校における未習の内容に関しては各学校の状況に応じて取り扱うこととした。

#### ○国語・算数

調査の目的に基づき、学習指導要領の定める第4学年までの内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施した。

#### ○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

児童の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童を対象とする意識調査を実施した。

### 3 調査の対象 市内全市立小学校の第5学年の児童

### 4 調査実施日及び調査対象教科・人数

(1) 調査実施日 令和2年7月6日（月）～10日（金）

(2) 調査対象教科・人数 小学校第5学年

国語	11,843人
算数	11,851人
生活や学習についてのアンケート	11,872人

◎ 国語調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

領域ごとの正答率（【 】内は令和元年度）

話すこと・聞くこと 82.3%【R1 80.6%】  
 書くこと 66.3%【R1 63.1%】  
 読むこと 78.1%【R1 73.7%】  
 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 76.6%【R1 75.7%】

国語				出題・観点等一覧										教科平均正答率 76.5		
通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	解答形式		正答 (選択式→番号 記述式→言葉)	観点				問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	平均正答率 市全体	
				選択	記述		話す聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能						
1	1	(1)		☆		1	◎					話すこと・聞くこと	話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	78.6	
2		(2)		☆		4	◎					話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	83.2		
3		(3)		☆		3	◎					話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	89.9		
4		(4)		☆		1	◎						話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	77.6	
5	2	①		☆	運転					◎	漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	73.8		
6		②		☆	湖					◎	漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	72.2		
7		③		☆	泳いだ					◎	漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	40.8		
8		④		☆	えいよう					◎	漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	94.9		
9		⑤		☆	いわ					◎	漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	81.1		
10		⑥		☆	つつ					◎	漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	92.9		
11		⑦		☆	洋服					◎	漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	66.6		
12		⑧		☆	けんこう					◎	漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	96.2		
13	3	(1)		☆		3				◎		言葉の特徴や使い方	接続語を理解している。	[知技](1)カ	87.3	
14		(2)		☆		2				◎		言葉の学習	主語について理解している。	[知技](1)カ	68.6	
15		(3)			☆	おもしろい				◎			国語辞典を利用して調べることができる。	[知技](2)イ	82.0	
16		(4)	①		☆	えのぐ				◎			ローマ字で書かれた身近な単語を読むことができる。	[知技](1)ウ	66.0	
17		(5)	②		☆		4			◎			身近な単語をローマ字で書くことができる。	[知技](1)ウ	59.2	
18		(6)		☆			1			◎			ことわざを適切に使うことができる。	[知技](3)イ	74.0	
19	4	(1)		☆		3				◎		言葉の学習	伝えたい気持ちを適切に言葉で表すことができる。	[知技](3)イ	90.9	
20		(2)		☆		1				◎			叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	[思判表]C(1)イ	92.0	
21		(3)		☆		2				◎			場面の移り変わりに注意して、動作の主体をとらえることができる。	[思判表]C(1)イ	73.9	
22		(4)		☆		4				◎			叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取り、音読することができる。	[思判表]C(1)イ	80.6	
23		(5)		☆		2				◎			叙述をもとに登場人物の性格を読み取ることができる。	[思判表]C(1)エ	92.8	
24	5	(1)		☆		3				◎			叙述をもとに登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。	[思判表]C(1)エ	80.2	
25		(2)		☆		2				◎			指示語の内容をとらえて文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	92.3	
26		(3)			☆		【3】			◎			文と文の意味のつながりを理解して文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	71.4	
27		①		☆	からだ					◎			段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	55.0	
28		②		☆	かくれることができる					◎			文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	77.8	
29	6	(1)		☆		3				◎			文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	76.1	
30		(2)		☆		3				◎			文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	67.2	
31		(3)		☆		3				◎			文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりできる。	[思判表]B(1)エ	87.0	
32	7	1		☆	A・Bのどちらかを選択している					◎			手紙の後付けを書く	手紙の後付けを書くことができる。	[思判表]B(2)イ	39.0
33		2		☆	理由がわかるように、自分の考えを具体的に書いている					◎			作文	書くこと	経験したことや想像したことなどから書くことを選ぶことができる。	[思判表]B(1)ア
34				☆						◎			書くこと	自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる。	[思判表]B(1)ウ	51.4

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「記述問題」のどちらであるかを☆で表しています。

※いずれも3・4年

## 読むこと

◇ 叙述をもとに登場人物の気持ちを読み取るとは概ねできている。

【4】(1)

◇4 (1) (報告書P15 問題P5～P6参照)

4

次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

小学五年生で、内気な性格の「わたし(佐々野)」は、一年生に本の読み聞かせをするようになった。「わたし」は、読み聞かせのための本を借りに図書室へ向かった。

後ろに気配を感じたのでふり返ってみると、そこに広瀬くんが立っていた。

困った表情をうかべて、わたしのほうをじっと見ている。

「いたい、どうしたというのだろう……」

「佐々野さんも今日の昼休み、読み聞かせに行くんだよね、一年二組に。」

急にわたしに話しかけてきたので、正直びっくりした。今まで、面と向かって話したことはなかったし、ふだんはわたし以上に広瀬くんは無口だったから。

わたしは、あわててうなずいていた。

① 戸田くんのかわりに、急におれも行くことになってさ……。」

戸田くんは、一時間目が終わるとすぐに早引きしていた。風邪をひいていて、熱が急に上がったらしい。

つまり、その代役が広瀬くんに決まったということなのだろう。

「あのさ、どんな本を読めばいいのか、佐々野さん知ってる？ おれ、小さい子に読み聞かせなんかしたことなくてさ、まいったるんだ。」

(福田隆浩「香菜とななつの秘密」による)

(1) ① 「戸田くんのかわりに、急におれも行くことになってさ……。」とありますが、このように言ったときの広瀬くんの気

持ちとして、最もふさわしいものを次から一つ選んで、その番号を書きましよう。

②

- 1 読み聞かせに行くことが楽しみで、はりきる気持ち。
- 2 自分に代役をおしつけた戸田くんには、はらがたつ気持ち。
- 3 ③ どんな本を読めばいいのかわからず、困った気持ち。
- 4 戸田くんのかわりに自分が選ばれて、とくいな気持ち。

正答率

92.0%

◆第三学年配当漢字を書くことに課題がある。【2】③【

◆2 ③（報告書P10 問題P2参照）

2

次の文章中の……線①②③⑦のひらがなを漢字で、——線④⑤⑥⑧の漢字の読み方をひらがなで、それぞれでいねいに書きましょう。③は送りがなも書きましょう。

⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

わたしは先日、父の①うんてんする車で、遠くに住む祖母②の家に遊びに行きました。

祖父母の家では、みんなでトランプをしたり、近くの②みずうみで③およいだりして過ごしました。夕食は、祖母が作ってくれました。量も④栄養もたっぷりで、とてもおいしかったです。また、わたしの誕生日⑤が近かったため、お⑤祝いに祖父母がプレゼントをくれました。⑥包みを開けると、かわいい⑦ようぶくが入っていました。

わたしは、家に帰ってきてから、祖父母にお礼の手紙を書きました。大好きな祖父母には、ずっと⑧健康でいてもらいたいです。

【書き】

正答 正答率

① 運転 73.8 %

② 湖 72.2 %

③ 泳いだ 40.8 %

⑦ 洋服 68.6 %

【主な誤答】

「泳ぐ」は書けているが、送り仮名が未記入または誤り 30.5 %

3 授業改善に向けて注目した問題

○出題のねらい 自分の考えとその理由との関係を明確にして書くことができる。

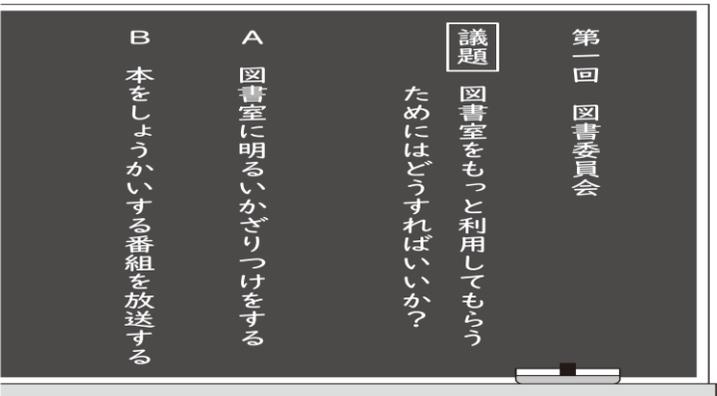
◆72 (報告書P20 問題P10参照)

7 図書委員会では、学校の図書室をもっと利用してもらうための取り組みについて話し合いました。話し合いの中で、〈黒板〉に書かれたA・Bの意見が出されたため、どちらの意見に賛成するか、理由を書いて投票することになりました。  
下の〈注意する点〉にしたがい、投票のための文章を書きましよう。

正答率

51.4%

黒板



〈注意する点〉

① 1は、〈黒板〉のA・Bのどちらか行うとよいと思う取り組みを一つ選び、記号(A・B)を、解答用紙の1の□に書きましよう。

② 2は、書き出しの「なぜなら、」に続けて、その取り組みをすると図書室の利用者がふえると思う理由がわかるように、具体的に考えて書きましよう。文は二つ以上になってもかまいません。文が二つ以上になるときは、つなぎ言葉にもよく注意ましよう。

③ 2は、三十字以上、五十字以内で、3につながるよう書きましよう。  
(書き出しの言葉や、空らん、や。も一字と数えます。)

1	わたしは、□の取り組みがよいと思います。
2	なぜなら、 答えは、すべて解答用紙に書きましよう。
3	これで、図書室の利用者がもっとふえると思います。

正答例

・(なぜなら、)これまで図書室に入りにくいと思っていた人も、入りやすくなると思うからです。【Aの取組を選んだ場合】  
・(なぜなら、)読みたい本ができれば、図書室に行って借りようと思うだろうと考えたからです。【Bの取組を選んだ場合】

正答条件を満たしていない割合

- (1) 図書室の利用者が増えると思う理由が具体的な考えになっていない。 6.1%
- (2) 自分の考えを書いていない。 0.9%
- (3) 「なぜなら」にスムーズにつながるように書いていない。 9.6%
- (4) 三十字以上、五十字以内で書いていない。 5.1%

領域ごとの正答率（【 】内は令和元年度）

数と計算	66.8%	【R1 数と計算 69.8%】
図形	54.6%	【R1 図形 49.2%】
変化と関係	52.4%	【R1 量と測定 50.7%】
データの活用	72.2%	【R1 数量関係 63.2%】

◎算数調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

算数				出題・観点等一覧										教科平均正答率 61.8	
通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	解答形式	正答	観点	問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	平均正答率	市全体			
				選択 短答 記述	選択式→番号 短答式→言葉 記述式→文章	数学的な考え方	技能	知識・理解							
1				☆	850			◎	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる			74.3			
2		(1)		☆	23			◎	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる			91.8			
3				☆	873			◎	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる	4年A(4)ア(イ)		70.8			
4		(2)		☆	0.44		○	◎	数直線上の小数を読み取ることができる			75.9			
5				☆	0.506		○	◎	数直線上の小数を読み取ることができる			61.6			
6		(1)		☆	6.85			◎	小数のたし算・ひき算			76.2			
7		(2)		☆	49.15			◎	小数第二位までの加法ができる	4年A(4)ア(ウ)		59.9			
8		(3)		☆	34.8			◎	小数と整数のかけ算・わり算			81.4			
9		(4)		☆	3.25			◎	小数×(1けた)の乗法ができる	4年A(4)ア(エ)		64.1			
10	2	(5)		☆	32			◎	四則混合計算ができる	4年A(6)ア(ア)		78.1			
11		(6)		☆	$6\frac{2}{7}$ または $\frac{44}{7}$			◎	帯分数を含む同母分数の加法ができる	4年A(5)ア(イ)		71.7			
12		(7)		☆	$2\frac{2}{3}$ または $\frac{8}{3}$			◎	帯分数を含む同母分数の減法ができる			66.4			
13	3			☆	6(本できて、)2.8(cmあまる。)		◎	○	小数と整数のかけ算・わり算	4年A(4)ア(エ)		47.7			
14		(1)		☆	29			◎	分数が単位分数のいくつ分かで表せることがわかる			63.0			
15		(2)		☆	$1\frac{1}{5}$ または $\frac{6}{5}$			◎	テープ図に示された分数を読み取ることができる			50.5			
16	4	(3)		☆	$\frac{12}{5}$ (-) $2\frac{1}{5}$ (-) $2$ (-) $\frac{9}{5}$ (-) $1\frac{3}{5}$ (完答) (仮分数を帯分数、帯分数や整数を仮分数にしても、並び順があていば正解とする。)			◎	分数の大小がわかり、仮分数・帯分数・整数を大小順に並べることができる	4年A(5)		65.2			
17		(1)		☆	70…イ、140…ウ、□…オ (完答)		◎	○	○			26.8			
18	5	(2)		☆	きゅうりは(140÷70=2で)2倍の値上がりで、キャベツは(300÷200=1.5で)1.5倍の値上がりだから、きゅうりのほうがより値上がりしたと考えました。		○	◎		くらべ方	4年C(2)		29.4		
19	6			☆	100		○	◎		式と計算	A 数と計算		53.4		
20	7			☆	①500+200+300 ②1000(完答 正答は一例)		○	◎	○	がい数	A 数と計算		51.2		
21	8	(1)		☆	3			◎		角	B 図形		68.1		
22		(2)		☆	230(度)		○	◎		角	B 図形		49.2		
23	9	(1)		☆	3×4(=12)または4×3(=12)			◎	◎	面積	B 図形		63.8		
24		(2)		☆	2			◎	◎	面積の大きさについての感覚を身につけている	4年B(4)ア(ア)、(イ)		27.0		
25	10			☆	1		◎	○		垂直・平行と四角形	B 図形		59.9		
26	11	(1)		☆	ア、ウ、エ、オ(順不同、完答)			◎	◎	垂直・平行と四角形	B 図形		68.2		
27		(2)		☆	ア、ウ(順不同、完答)		○	◎	◎	垂直・平行と四角形	B 図形		36.7		
28		(1)		☆	2			◎	◎	立方体の展開図がわかる			60.1		
29	12	(2)		☆	辺アオ、辺イカ、辺ウキ、辺エク(順不同、完答) (辺の表記の無いものも正解とする。)			◎	◎	立体	B 図形		52.7		
30	13			☆	採点用正答用紙参照		◎	○	○	面積	B 図形		60.7		
31	14	(1)		☆	24(こ)		◎	○	○	変わり方	C 変化と関係		81.1		
32		(2)		☆	○×4(=△)		◎	○	○	変わり方	C 変化と関係		72.3		
33	15	(1)		☆	4は、(1週間)に校庭で打ぼくをした人の数を表しています。		◎	○	○	整理のしかた	D データの活用		82.2		
34		(2)		☆	1、4(順不同、完答)		◎	○	○	整理のしかた	D データの活用		62.3		

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「短答問題」、「記述問題」のいずれであるかを☆で表しています。

## 2 主な成果（◇）と課題（◆）

### データの活用

◇二次元表の中の数値が表していること読み取ることについては、概ね理解できている。【15（1）】

◇15（1）（報告書 P46 問題 P16 参照）

15 あけみさんとたくやさんは、学校で1週間に起きたけがの種類、けがをした場所、けがをした人の学年を調べました。

その中から、けがの種類とけがをした場所について、下の表にまとめました。

1週間に起きたけがの種類と場所 (人)

場所 種類	教室	校庭	体育館	ろう下	かいだん 階段	合計
すりきず	1	3	1	2	1	8
打ぼく	3	4	3	3	2	15
切りきず	2	1	0	0	0	3
その他	1	1	2	1	0	5
合計	7	9	6	6	3	31

(1) 上の表の 4 は、何の数を表していますか。

(2) 上の表から分かることとして正しいものはどれですか。答えは1～4から2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 打ぼくは、ほかのけがと比べてどの場所でも多い。
- 2 校庭ではころぶ人が多いので、すりきずが多い。
- 3 低学年ほどけがをしている人が多い。
- 4 教室ではどのけがも起きている。

(1) 【正答】

校庭で打ぼくをした人の数を表している。

【正答率】

82.2%

【採点基準】

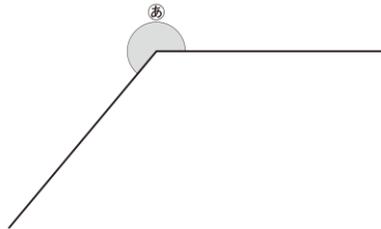
場所とけがの種類の両方が、正しく記述されているもの。

図形

◆  $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを具体的に求めることについては課題がある。【8】(2)

(報告書 P38 問題 P7 参照)

8 ㊸の角の大きさをはかります。



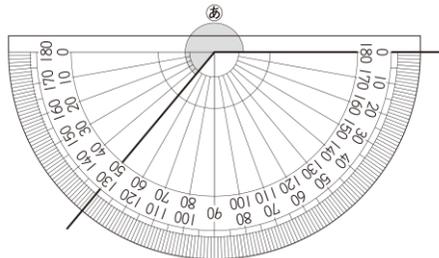
(1) ㊸の角の大きさについて正しいものはどれですか。答えは1～4から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1  $90^\circ$  未満である。
- 2  $90^\circ$  以上で、 $180^\circ$  未満である。
- 3  $180^\circ$  以上で、 $270^\circ$  未満である。
- 4  $270^\circ$  以上で、 $360^\circ$  未満である。

(1) 【正答】 3

【正答率】 68.1%

(2) ㊸の角の大きさを書きましょう。



(2) 【正答】 230 度

【正答率】 49.2%

【主な誤答】 130 度 35.5%

### 3 授業改善に向けて注目した問題

#### 数と計算

○出題のねらい 買い物の場面を取り上げ、1000円で買い物ができるかどうかを判断するため、日常場面を想定し切り上げて計算することができる。

◆目的に合った数の処理の仕方を考えたりすることについては課題がある。【7】（報告書 P37 問題 P5～P6 参照）

7 まきさんとゆうたさんは、文房具を売っているお店に来ています。



まきさんは、コンパスとノートと下じきをそれぞれ1つずつ買うことを考え、代金の合計がおよそいくらになるかを、それぞれの代金を四捨五入して百の位までのがい数で、次のように求めました。

四捨五入して百の位までのがい数で計算すると、次のようになります。

実際の数	462	198	246
およその数の計算	500	+200	+200=900

実際の数に近い数にして和が900だから、代金の合計が約900円であることがわかります。

ゆうたさんは、この3つの商品が1000円で買えるかどうかを、それぞれの代金を切り上げて、がい数で、次のように見積もりました。次の①の式にあてはまる数と、②に入る数を書きましょう。

切り上げてがい数で計算すると、次のようになります。

実際の数	462	198	246
およその数の計算	<input type="text"/>	+ <input type="text"/>	+ <input type="text"/> = <input type="text"/> ②

①

実際の数より大きい数にして和が  ② だから、1000円で買えることがわかります。

(1) 【正答】

①500+200+300 と解答しているもの

②1000 と解答しているもの など

【正答率】 51.1%

【主な誤答】 500+200+200 と解答しているもの 33.2%

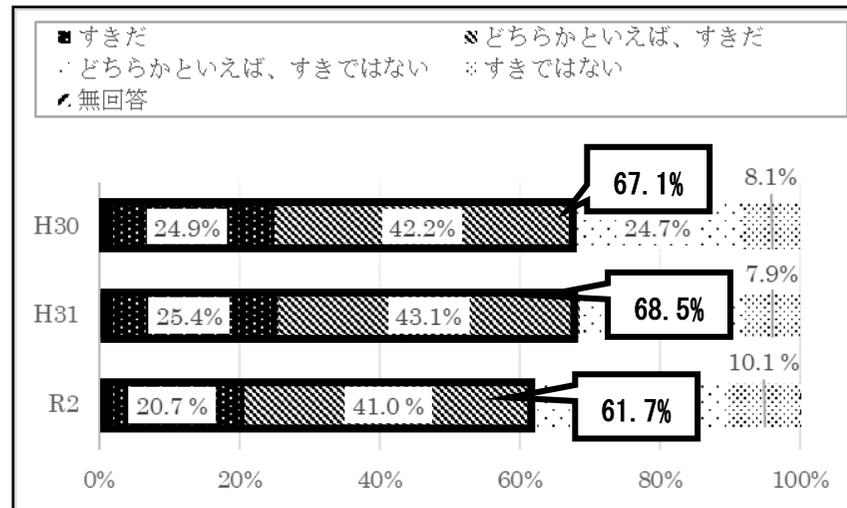
◎ 生活や学習についてのアンケート 過去3年間の経年変化

1. 学習全般に対する好感度・必要性・勉強する理由について

(報告書P57 参照)

好感度

問2 勉強は、好きですか。

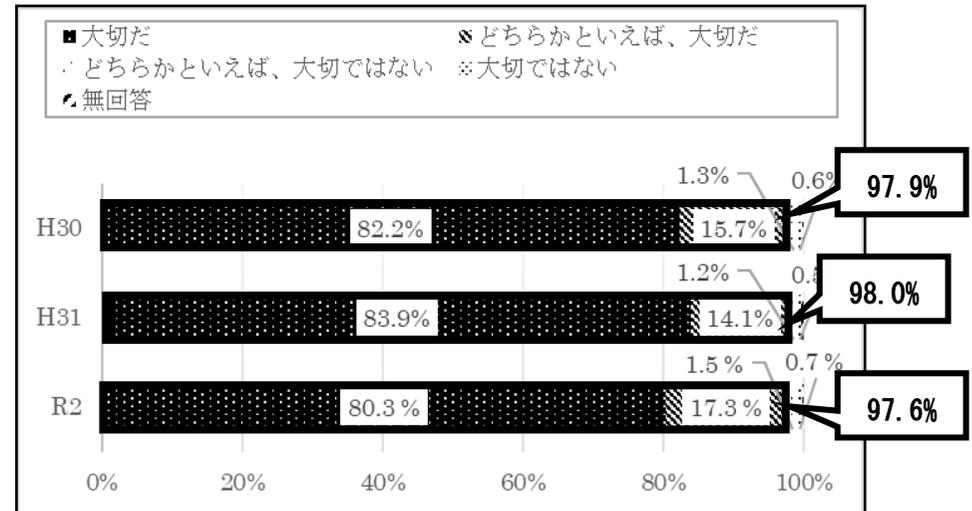


20.7%の児童が、「好きだ」と回答しており、「どちらかといえば好きだ」を合わせると61.7%である。H31と比較すると6.8ポイント減少している。

(報告書P58 参照)

必要性

問3 勉強することは、大切なことだと思いますか。

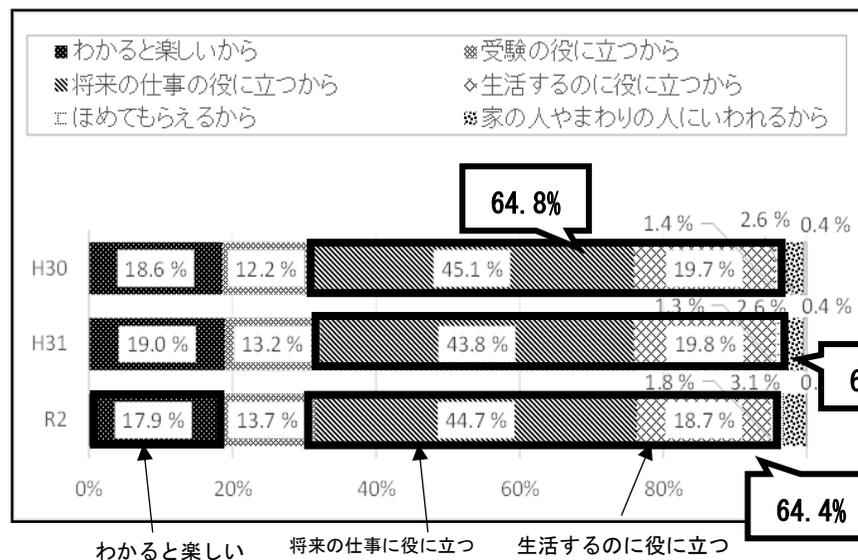


80.3%の児童が、「大切だ」と回答しており、「どちらかといえば大切だ」を合わせると97.6%である。H31と比較するとほぼ同程度の結果である。

(報告書 P58 参照)

理由

問 4 勉強をする一番の理由は何ですか。

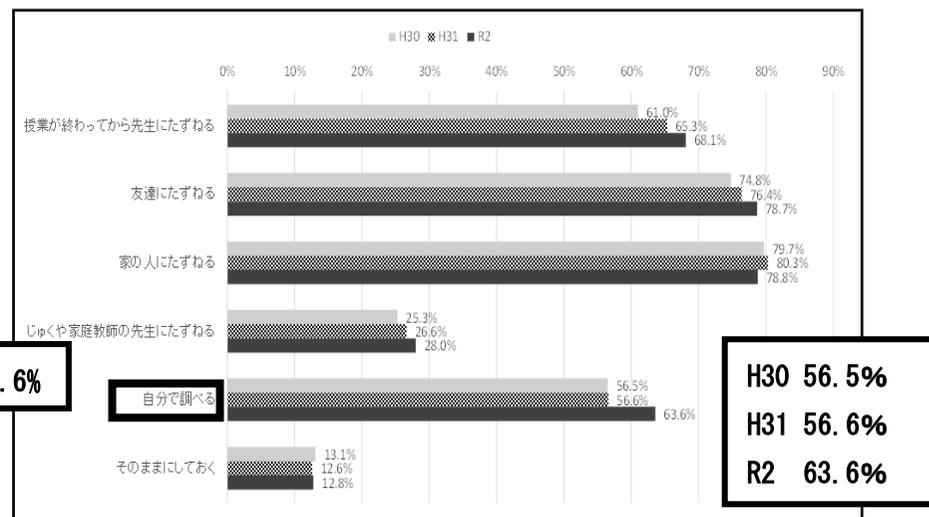


勉強する一番の理由として、有用感を挙げている児童が多く、「将来の仕事に役に立つから」、「生活するのに役に立つから」を合わせると 64.4%で、29年度から6割を超えている。「わかると楽しいから」と回答した児童は、17.9%である。

(報告書 P59 参照)

解決方法

問 28~33 授業の中で、わからないことがあったら、どうすることが多いですか



「授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか」に「自分で調べる」と回答した児童が 63.6%で、平成 31 年度と比較すると、7.0ポイント増加している。

(報告書 P60 参照)

好感度

問5～10 次の授業は、好きですか。



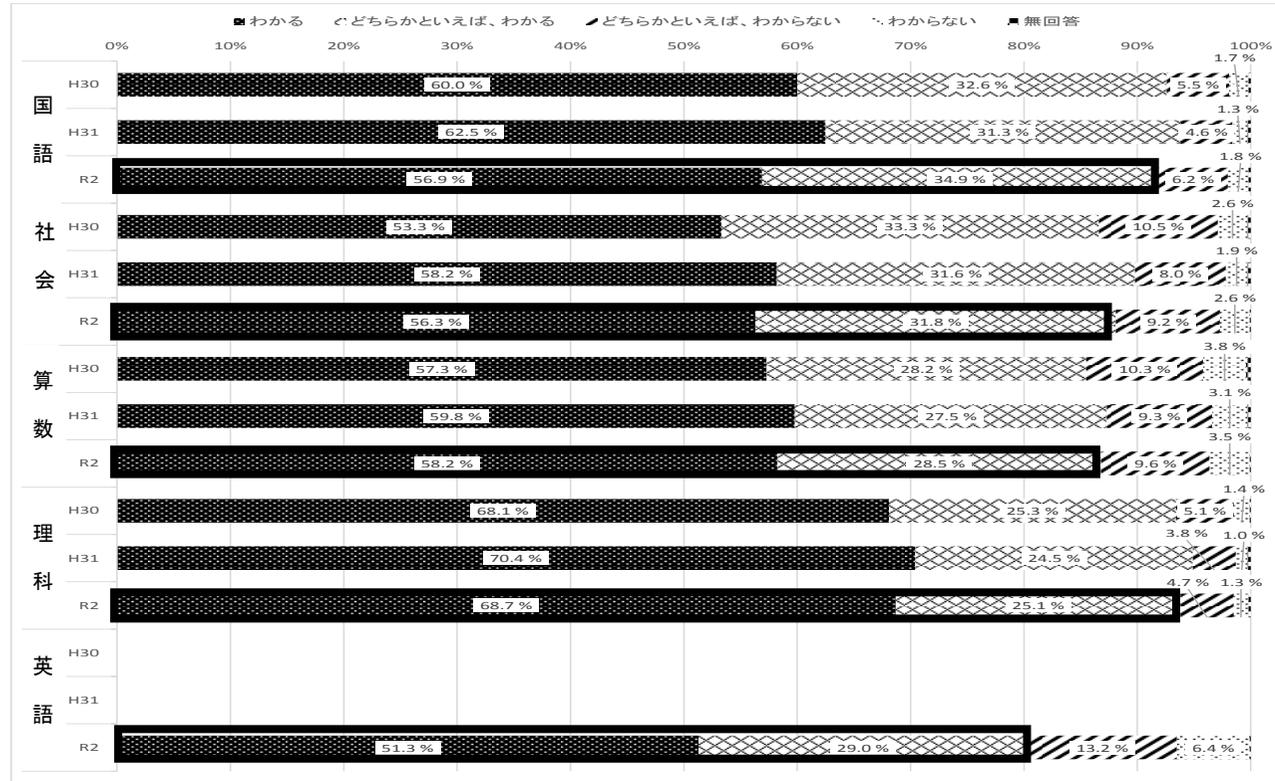
国語	H30	71.2%	
	H31	72.7%	
	R2	66.4%	-6.3
社会	H30	68.2%	
	H31	71.5%	
	R2	67.1%	-4.4
算数	H30	71.5%	
	H31	72.2%	
	R2	68.5%	-3.7
理科	H30	86.2%	
	H31	87.6%	
	R2	84.8%	-2.8
英語	R2	72.5%	
総合	H30	82.1%	
	H31	84.7%	
	R2	82.9%	-1.8

「好きだ」「どちらかといえば好きだ」と回答した児童を平成 31 年度と比較すると、すべての教科で減少している。また、今年度より実施した英語の結果は、72.5%であった。

(報告書 P61 参照)

**理解度**

問 11～15 次の授業は、よくわかりますか。



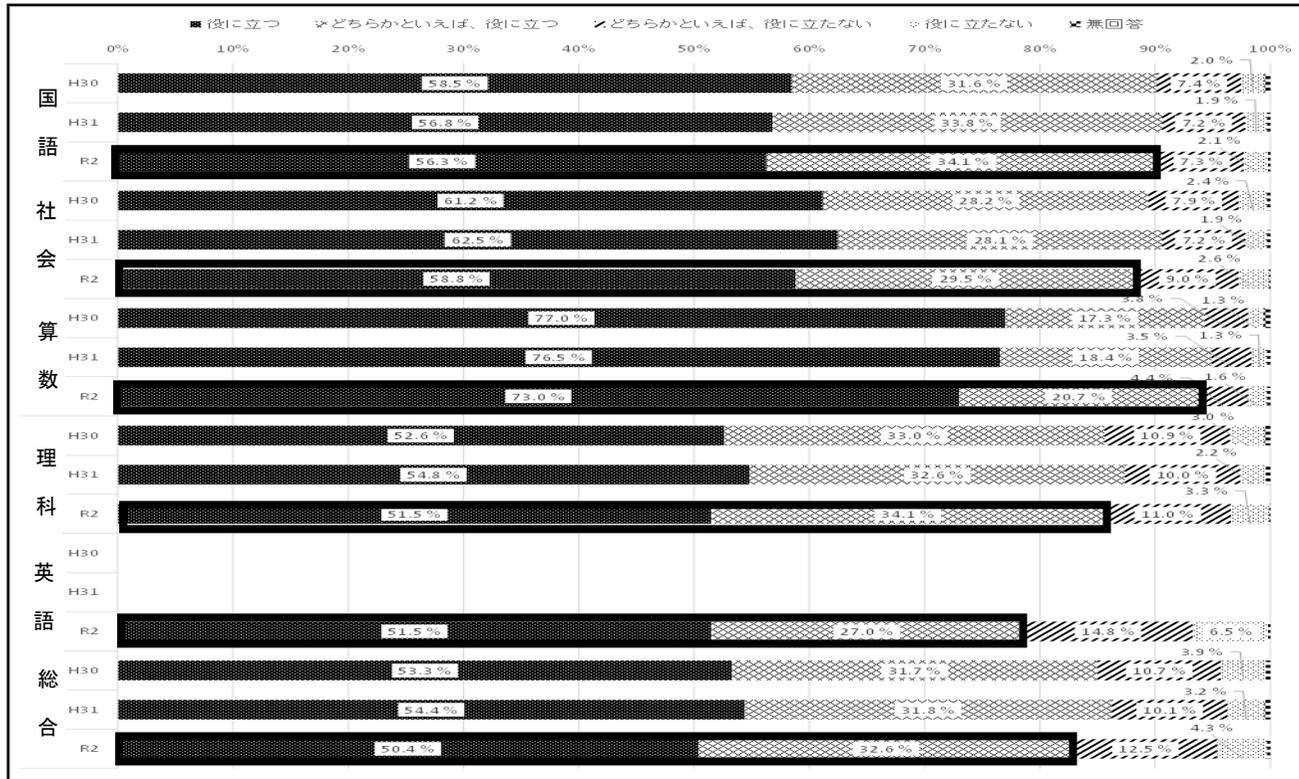
国語	H30	92.6%	
	H31	93.6%	
	R2	91.8%	-1.8
社会	H30	86.6%	
	H31	89.8%	
	R2	88.1%	-1.7
算数	H30	85.5%	
	H31	87.3%	
	R2	86.7%	-0.6
理科	H30	93.4%	
	H31	94.9%	
	R2	93.8%	-1.1
英語	R2	80.3%	

「わかる」「どちらかといえば、わかる」と回答した児童を平成 31 年度と比較すると、すべての教科で減少している。また、今年度より実施した英語の結果は、80.3%であった。

(報告書 P62 参照)

**有用感**

問 16～21 授業で学んだことは、生活の中で役に立っていると思いますか。



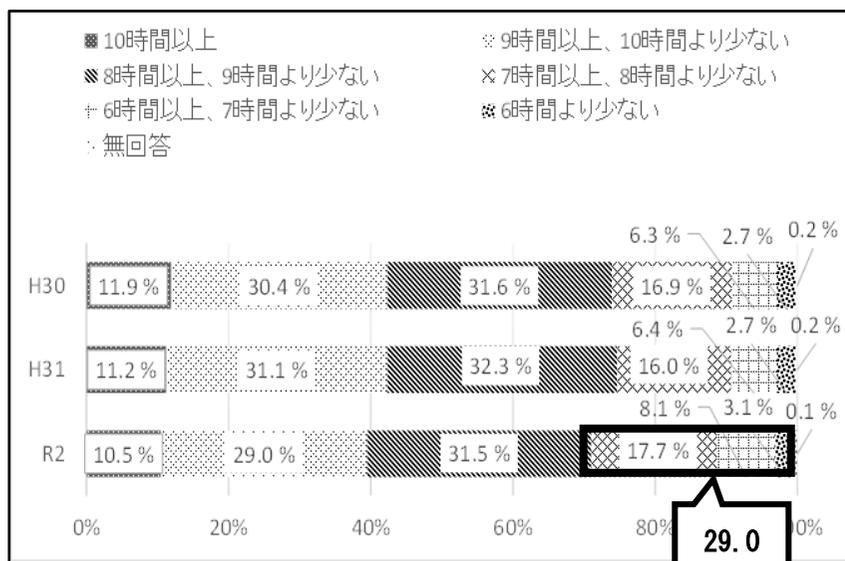
国語	H30	90.1%	
	H31	90.6%	
	R2	90.4%	-0.2
社会	H30	89.4%	
	H31	90.6%	
	R2	88.3%	-2.3
算数	H30	94.9%	
	H31	94.9%	
	R2	93.7%	-1.2
理科	H30	85.6%	
	H31	87.4%	
	R2	85.6%	-1.8
英語	R2	78.5%	
総合	H30	85.0%	
	H31	85.7%	
	R2	83.0%	-2.7

「役に立つ」「どちらかといえば、役に立つ」と回答した児童を平成 31 年度と比較すると、すべての教科で減少している。また、今年度より実施した英語の結果は、78.5%であった。

## 2. 家庭生活の実態について

(報告書 P66 参照)

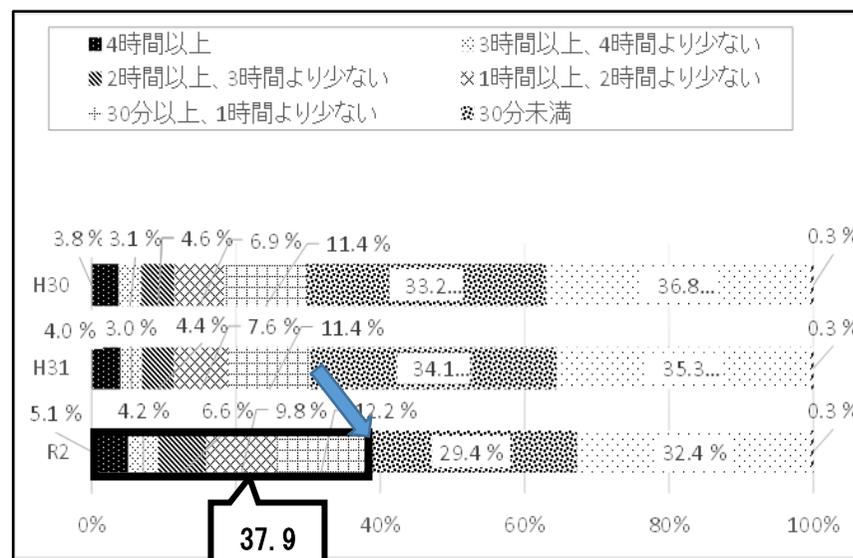
### 問38 睡眠時間



睡眠時間が「8時間より少ない」と回答した児童が29.0%であり、31年度と比較すると4.8ポイント増加している。

(報告書 P67 参照)

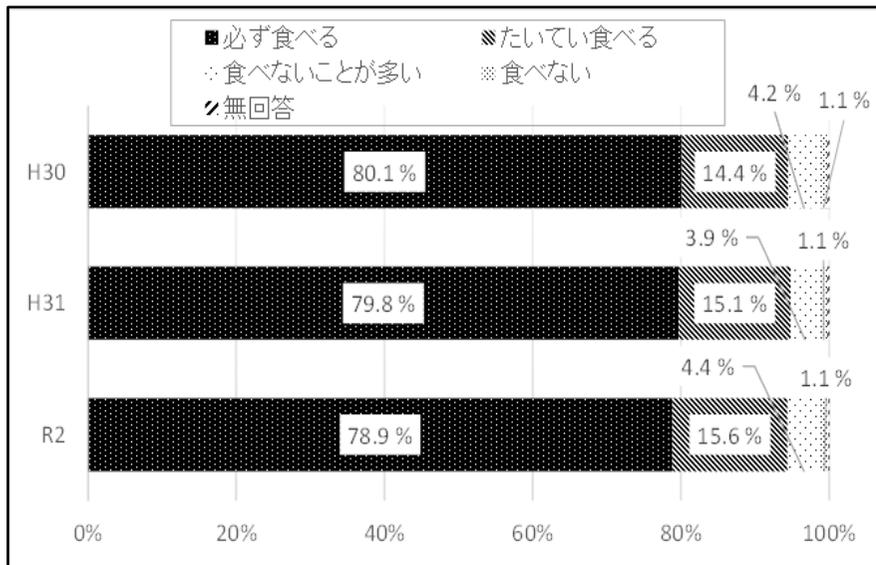
### 問43 携帯電話やスマートフォンの使用時間



携帯電話やスマートフォンを「1時間以上使用する」と回答した児童は、37.9%であり、30年度と比較すると8.1ポイント、31年度と比較すると7.5ポイント増加している。

(報告書 P66 参照)

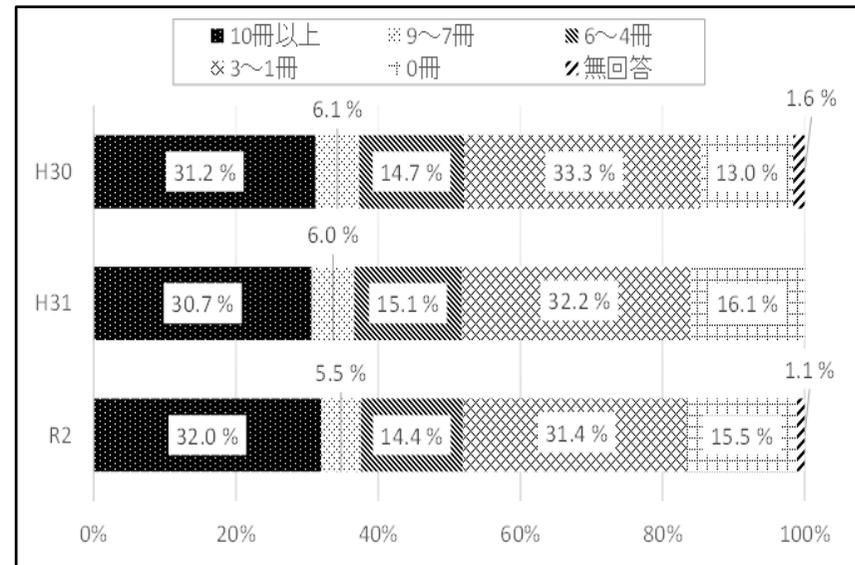
### 問 3 9 朝食の摂取



朝食を「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した児童は、94.5%であり、30年度から比較してほぼ同程度である。

(報告書 P68 参照)

### 問 4 5 1か月の読書量



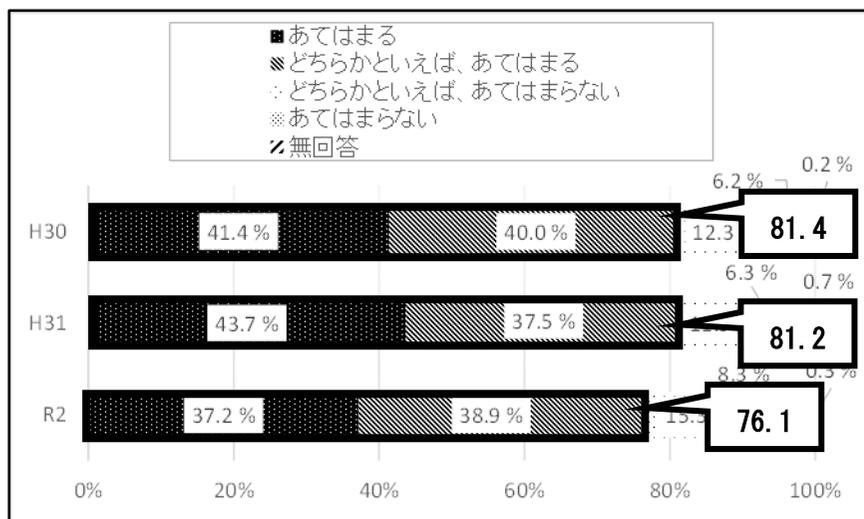
「月に何さつぐらい本（マンガ・雑誌をのぞく）を読みますか」に「10冊以上」と回答した児童は32.2%、「3～1冊」と回答した児童は31.4%で、30、31年度と比較するとそれぞれほぼ同値である。

### 3. 自己肯定感・将来に関する意識について

(報告書P70 参照)

#### 自己肯定感

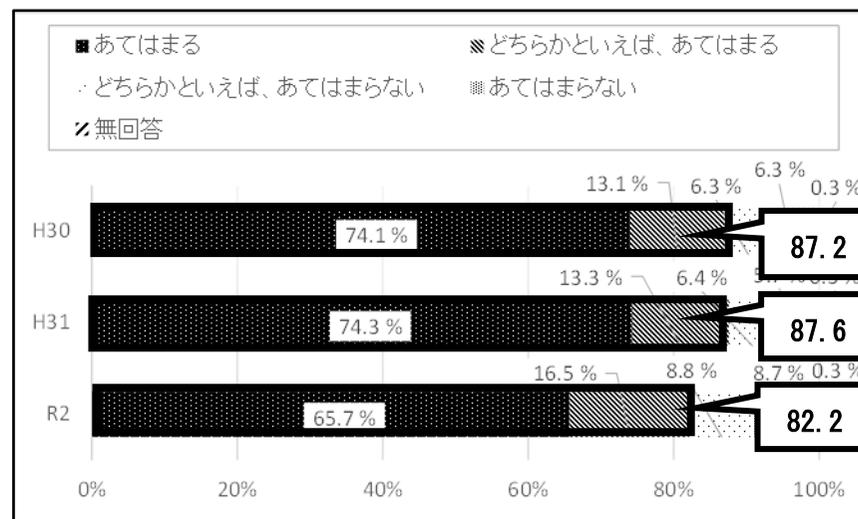
問 44 自分には、よいところがあると思いますか。



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は76.1%であり、「あてはまる」と回答した児童は、31年度と比較して6.5ポイント減少している。

#### 将来に関する意識

問 45 将来の夢や目標を持っていますか。

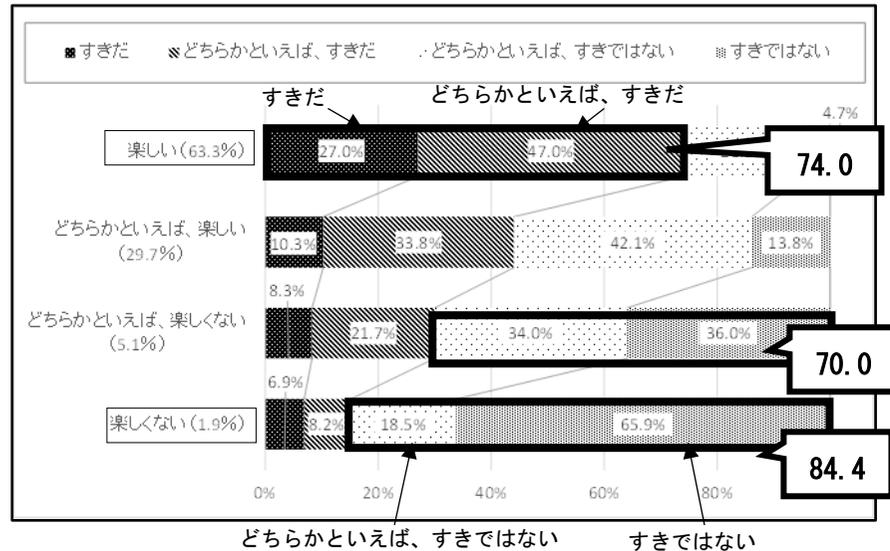


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、82.2%であり、31年度と比較すると5.4ポイント減少している。

#### 4. クロス集計結果について

(報告書P76 参照)

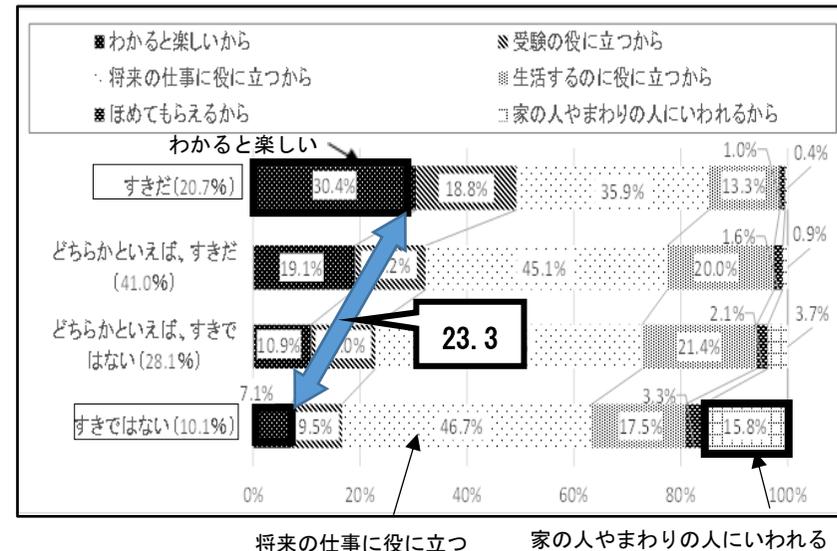
##### 1 学校の楽しさ【問1】×学習に対する好感度【問2】



「学校生活が楽しい」と回答した児童のうち 74.0%は勉強が「好きだ」「どちらかといえば、好きだ」と回答している。学校生活が「楽しくない」と回答した児童の 84.4%、「どちらかといえば楽しくない」と回答した児童の 70.0%は勉強が「好きではない」「どちらかといえば好きではない」と回答している。

(報告書P77 参照)

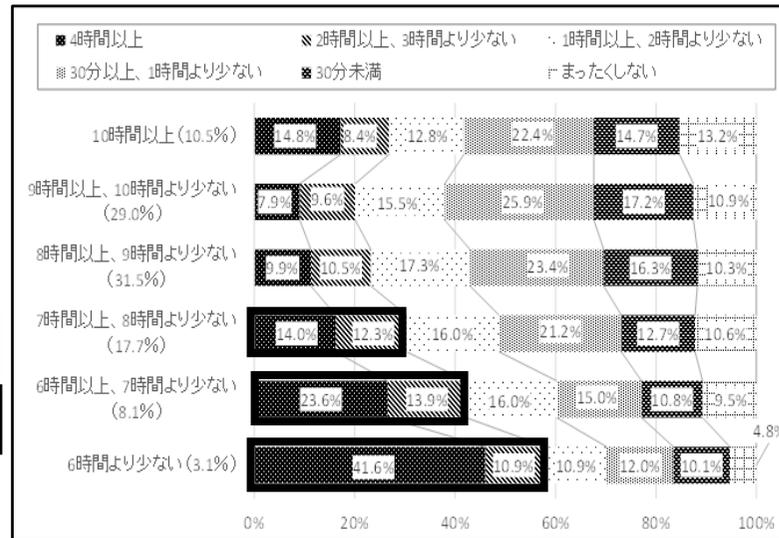
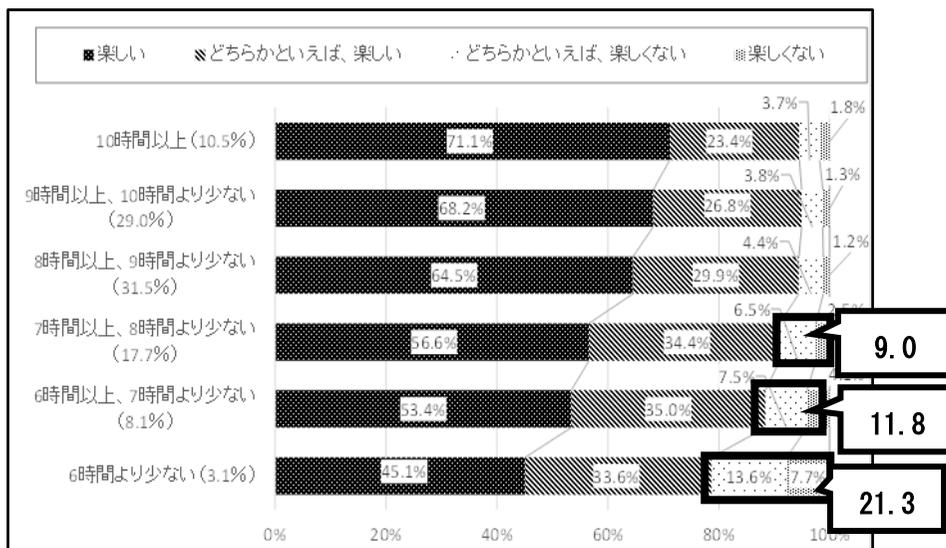
##### 3 学習に対する好感度【問2】×勉強する理由【問4】



好感度の高い児童ほど「わかると楽しいから」と回答する割合が高い。「好きだ」と回答した児童と「好きではない」と回答した児童とでは 23.3 ポイントの差がある。「好きではない」と回答した児童の 15.8%は「家の人やまわりの人にいわれるから」を一番の理由にあげており、他に比べて割合が多い。

27 睡眠時間【問 38】×学校の楽しさ【問 1】

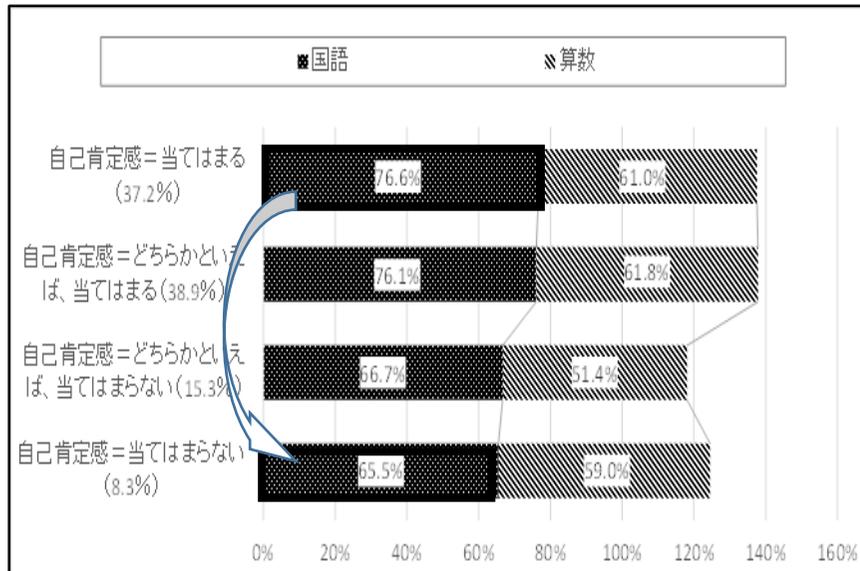
27 睡眠時間【問 38】×テレビゲームの実施時間【問 41】



睡眠時間が長いほど「学校が楽しい」と回答している割合が高い傾向がある。睡眠時間が「7 時間以上 8 時間より少ない」児童の 9.0%、「6 時間以上、7 時間より少ない」児童の 11.6%、「6 時間より少ない」児童の 21.3%が、「どちらかといえば楽しくない」「楽しくない」と回答している。

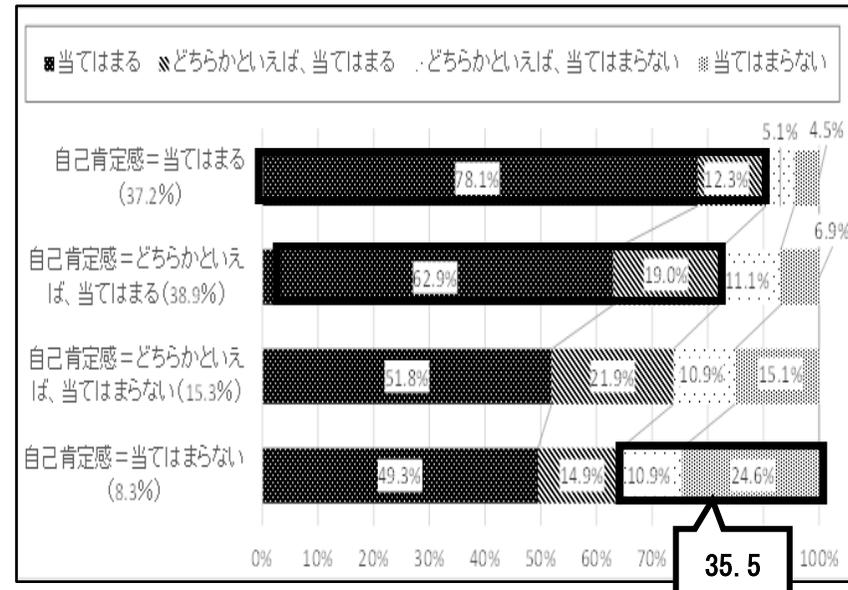
睡眠時間が「6 時間より少ない」と回答した児童のうち、テレビゲームを「4 時間以上やっている」と回答したのは 41.6%、「2 時間以上、3 時間より少ない」と回答したのは 10.9%である。睡眠時間が「7 時間以上 8 時間より少ない」児童の 26.3%、「6 時間以上、7 時間より少ない」児童の 37.5%が、テレビゲームを「2 時間以上やっている」と回答している。

22 自己肯定感【問 48】×国語・算数の正答率



「自分にはよいところがある (あてはまる)」と回答している児童ほど国語・算数の正答率が高い。「当てはまらない」と回答した児童の国語と算数の正答率は、それぞれ 65.5%、59.0%である。「当てはまる」と回答した児童と国語では約 10 ポイントの開きがある。

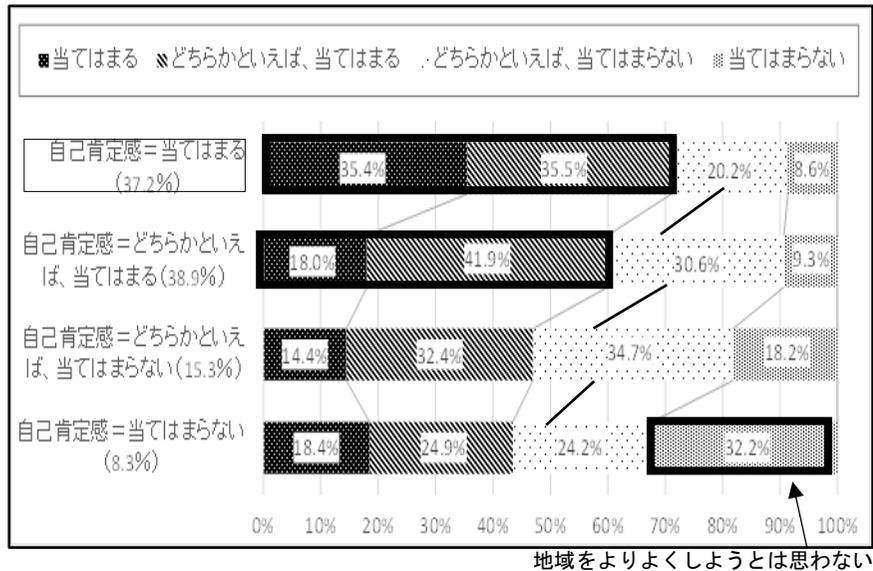
23 自己肯定感【問 49】×将来の夢や目標【問 45】



自己肯定感が比較的高い児童ほど、将来の夢や目標を持っていると回答している割合が高い。「自分には、よいところがあると思わない (当てはまらない)」と回答した児童のうち、35.5%の児童は夢や目標を「持っていない」「どちらかといえば持っていない」と回答している。

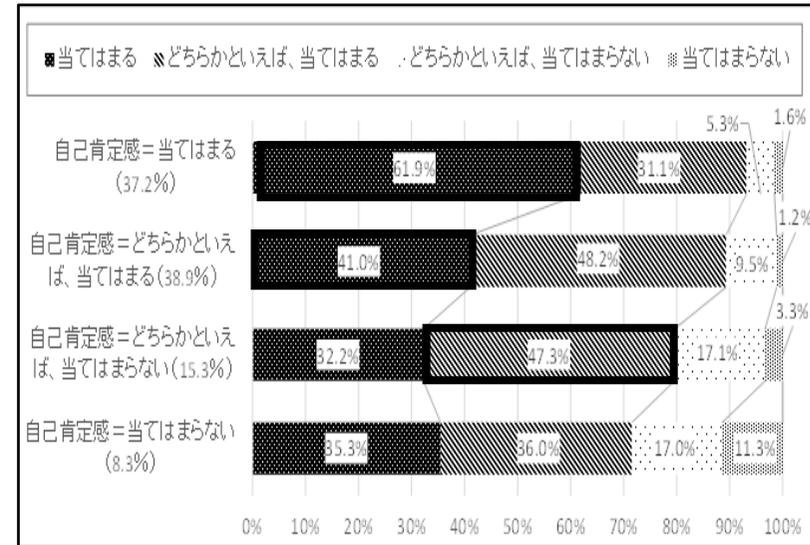
(報告書 P85 参照)

27 自己肯定感【問 48】×地域への貢献【問 55】



自己肯定感が比較的高い児童ほど、地域や社会に対して貢献しようとして回答している割合が高い。「自分には、よいところがあると思わない(当てはまらない)」と回答した児童のうち、「地域をよりよくしようとは思わない」割合は、32.2%である。

27 自己肯定感【問 48】×周囲への援助【問 55】



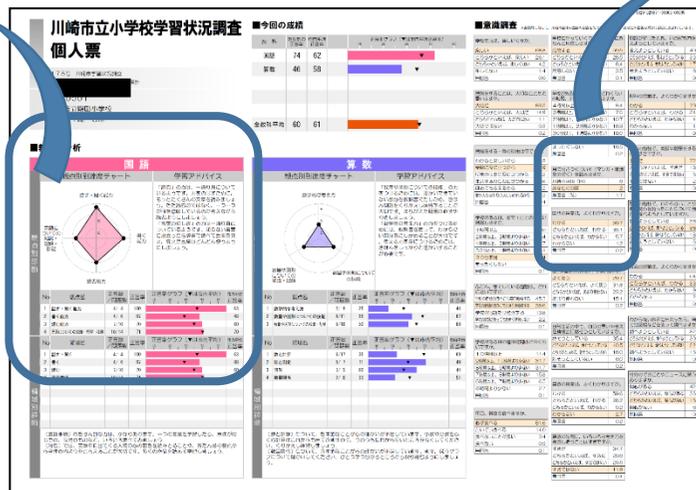
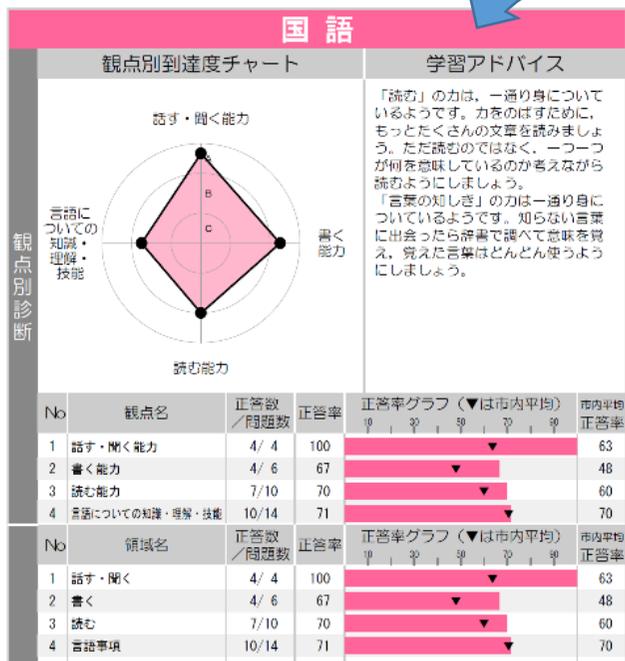
自己肯定感が高い児童ほど、人が困っているときに助けようとしている割合が高い。「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童のうちの47.3%は、「人が困っているときはどちらかといえば助けようとする」と回答している。

◎ 調査結果の活用

川崎市学習状況調査 わかりやすい個票を保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立てます。

■教科別分析



国語の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.3
どちらかといえば、わかる	35.0
どちらかといえば、わからない	5.9
わからない	1.6
無回答	0.2

算数の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.4
どちらかといえば、わかる	29.3
どちらかといえば、わからない	9.9
わからない	3.2
無回答	0.2

**【様々な情報提供】**  
小問別、領域別、観点別に川崎市平均正答率と結果を示しています。

**【意識調査】**  
アンケート調査については、国語、算数について授業の理解度などについて選択肢別の回答率を示しています。

数値は川崎市の全体の割合(%)  
本人の選択は網掛け部分

大問	小問	領域	設問内容	正答率グラフ			全体正答率 (%)	正解
				0%	50%	100%		
		3	読む				78	91
4	1	3	音読のしかた				92	○
4	2	3	動作の主体の読み取り				74	○
4	3	3	気持ちの読み取り				81	○
4	4	3	人物ぞうの読み取り				90	○
4	5	3	気持ちの変化の読み取り				83	○
5	1	3	つなぎ言葉				92	○
5	2	3	指示内よりの読み取り				71	●
5	3	3	文章構成の読み取り				55	○
5	41	3	要点の読み取り				78	○
5	42	3	要点の読み取り				76	○
5	43	3	要約				67	○

### 国語分析【国語】

大問	小問	領域	設問内容	正答率 (%)	正解
1	1	3	読む	78	91
4	1	3	音読のしかた	92	○
4	2	3	動作の主体の読み取り	74	○
4	3	3	気持ちの読み取り	81	○
4	4	3	人物ぞうの読み取り	90	○
4	5	3	気持ちの変化の読み取り	83	○
5	1	3	つなぎ言葉	92	○
5	2	3	指示内よりの読み取り	71	●
5	3	3	文章構成の読み取り	55	○
5	41	3	要点の読み取り	78	○
5	42	3	要点の読み取り	76	○
5	43	3	要約	67	○

### 算数分析【算数】

大問	小問	領域	設問内容	正答率 (%)	正解
1	1	3	読む	78	91
4	1	3	音読のしかた	92	○
4	2	3	動作の主体の読み取り	74	○
4	3	3	気持ちの読み取り	81	○
4	4	3	人物ぞうの読み取り	90	○
4	5	3	気持ちの変化の読み取り	83	○
5	1	3	つなぎ言葉	92	○
5	2	3	指示内よりの読み取り	71	●
5	3	3	文章構成の読み取り	55	○
5	41	3	要点の読み取り	78	○
5	42	3	要点の読み取り	76	○
5	43	3	要約	67	○

**【わかりやすい提示】**  
 分析と解答用紙が上下で示されており、小問ごとに学習状況を確認することができます。

# 川崎市学習状況調査 児童個別振り返りシートを保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、児童それぞれの力にあったフォローアップシートを提供します。

## 児童個別振り返りシート 1411001-001 5年1 算数

### <算数>

#### 1 数と計算

(1) 次の計算をしましょう。答えは1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

①  $20 + 20 + 2$

②  $25 - 5 \times 3$

③  $2 + 3 \times 4 + 5$

1. 20  
2. 30  
3. 42

1. 10  
2. 23  
3. 60

1. 19  
2. 25  
3. 45

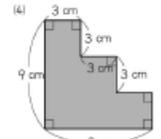
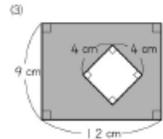
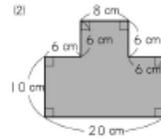
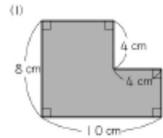
(2) 224 ページの本を、1日に12 ページずつ読みます。全部読み終わるまでに何日かかりますか。式は1から4、答えは1から5の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 式 1.  $224 + 12$  2.  $224 - 12$   
3.  $224 \times 12$  4.  $224 \div 12$

- 答え 1. 18日 2. 19日  
3. 212日 4. 236日  
5. 2688日

#### 2 図形

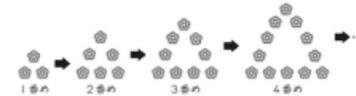
◆ 次の図形の色のついた部分の面積を求めましょう。



### <算数>

#### 3 変化と関係

◆ 下の図のように、おはじきを正三角形にならべていきます。あとの問いに答えましょう。



(1) 正三角形の大きさとおはじきの数の関係について、表をつくります。下の表のA、イにあてはまる数を書きましょう。

正三角形の大きさ ○ (番め)	1	2	3	4	5	6	
おはじきの数 △ (こ)	3	6	A	12	15	イ	

(2) 正三角形の大きさを○番め、おはじきの数を△こととして、正三角形の大きさとおはじきの数の関係を式に表しましょう。答えは1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

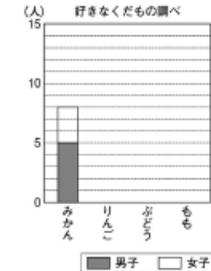
- 1  $\bigcirc + 2 = \triangle$  2  $\bigcirc \times 3 = \triangle$  3  $\triangle \times 3 = \bigcirc$

#### 4 データの活用

◆ 下の表は、1組の全員に『みかん、りんご、ぶどう、もも』の中から好きなくだものアンケートをとり、結果をまとめたものです。あとの問いに答えましょう。

	みかん	りんご	ぶどう	もも
男子	5	7	1	2
女子	3	4	3	5

- (1) 右のぼうグラフを完成させましょう。
- (2) 1組全体で、りんごが好きなおももが好きなおももは何人ですか。
- (3) 1組全体で、みかんが好きなおももが好きなおももは何倍ですか。



**【わかりやすい提示】**  
児童の学習状況をもとに、振り返り問題として領域ごと児童にあったフォローアップ問題が提供されます。(例は算数科のもの)